

## ・日本アンチ・ドーピング規程 2021 年版（ドラフト ver.2）

### 初版からの変更点概要

2020/9/18

2020 年 7 月の第 1 期コンサルテーションでの初版ドラフトからの主要な変更点は以下の通りです。詳細は規程本文の新旧比較対照レポート（別紙）を参照下さい。

#### 1. 序論-序文

序文の記載が一部変更された。主に関係団体の役割や団体間の連携に関する記載をより適切な表現に変更した。

#### 2. 序論-権限

初版ドラフトで削除されていた JSC と JADA の権限に関する記載に日本スポーツフェアネス推進機構（J-Fairness）を追加し、記載事項をより充実させた。

#### 3. 序論-本規程

日本アンチ・ドーピング規程およびそれに基づくアンチ・ドーピングプログラムの目的および内容に関する記載を追加した。

#### 4. 序論-適用範囲

本規程の適用範囲のうちの競技者に関する記載を整理・再構成した。

#### 5. 序論-競技者レベル

競技者レベルに関する記載を整理・再構成した。

※ 詳細は別紙参照

#### 6. 8 条-規律手続

聴聞会が通信回線を利用した遠隔方式（リモート開催）でも開催される場合があることの明記等、規律手続に関する各種の記載の追加・修正を行った。

#### 7. 13 条-不服申立て

日本スポーツ仲裁機構のアンチ・ドーピングパネルの詳細手続の変更、不服申立て権者に関する記載の修正等、不服申立て手続に関する各種の記載の追加・修正を行った。

#### 8. 17 条-教育

新しい「教育に関する国際基準」に基づく JADA の教育に関する活動方針およびその内容、

国内スポーツ団体との連携等について、記載を大幅に充実させた。

**9. 19 条-日本オリンピック委員会（JOC）**

新しい「教育に関する国際基準（ISE）」に基づく JADA や国内競技連盟（NF）との連携による教育、および JOC が関連する国際競技大会の競技者、サポートスタッフ等への教育について、記載を充実させた。

**10. 20 条-日本パラリンピック委員会（JPC）**

新しい「教育に関する国際基準（ISE）」に基づく JADA や国内競技連盟（NF）との連携による教育、および JPC が関連する国際競技大会の競技者、サポートスタッフ等への教育について、記載を充実させた。

**11. 21 条-日本スポーツ協会（JSPO）**

国民体育大会の競技者、サポートスタッフ等への教育、および国民体育大会がクリーン大会となるような取組みについて、記載を充実させた。

**12. 28 条-通知**

初版ドラフトで削除されていた通知に関する規定（2015年版 27 条）を再掲載した。

以上